第５学年　道徳学習指導案

１　主　題　名　　Ａ―（３）節度・節制　　きみならどうする

２　教　材　名　　自作教材

（男の子がトイレから出ると予鈴が鳴り、集合のために急ごうとするが、

スリッパが乱れていることに気づく場面の絵・スリッパの乱れている写真）

３　主題設定の理由

　(1) 子どもの姿について

　　本学級の子どもたちは、元気で明るく自分から挨拶できる子が多くいる。友達に対しても思いやりをもって行動できる子が多い。しかし、やったほうがよいことは、わかっているのになかなか行動に移せないことが多い。例えば、宿題をやらなければいけないのに後まわしにしたり、友達と話していてクラスの係の仕事にとりかかるのが遅れたりすることがある。

(2) ねらいとする価値について

　　やったほうがよいことなのに、他の理由があってできなかったことや、もしかしたら誰かがやってくれるかもしれないと思い、自分で行動することができないことがある。ここでは、何が正しくてどうすべきか迷う事例をあげる。この事例を通して、自分の節度ある行動を考え、そしてその行動はみんなが気持ちよく生活していくことにつながることを学んでほしい。

(3) 教材について

自作の１枚の絵を教材とする。この絵には男の子がトイレに行き、自分の脱いだスリッパだけではなく、他のスリッパがそろっていないことに気づく。しかし、チャイムが鳴り始めてしまうという場面である。子どもの中には、この男の子と似たような経験がある子もいるだろう。男の子がどんなことを考えているのかを考えさせたい。スリッパをそろえたほうがよいのか、時間を守ったほうがよいのかとどちらがよいのだろうかと葛藤するであろう。二つとも、きまり正しく生活していくためには大切なことである。自然学習を通して時間を守って行動することは大切だということを学んでいるので、チャイムが鳴ったらすぐに席につくことが大切だから後からそろえればよいという考えや、スリッパはすぐにそろえられるからさっとそろえて戻ればよいという意見も出てくるだろう。これらを考えていくことで、みんなのためにはどんな行動をしていったらよいのかと自分なりの考えをもってほしい。

次に１枚目の絵の続きとして男の子はどんな行動をとるのかを絵や言葉で表現し、クラスで発表し合う。そうすることでいろいろな子の考えにふれる機会をつくる。そうすることで、さまざまな考えにふれ、やったことがよいと思うことを自分から率先して行動していけるような態度が育つだろう。

４　子どもの心を揺さぶるための手だて

・　自作資料

　　子どもたちの日常生活でありうることを資料にすることで考えやすくする。また、葛藤するような資料を提示することで子どもたちの心を揺さぶり、節度についてより深く考えられるようにする。

５　本時の学習

(1) 目　標

　　　男の子の思っていることや、その後の行動を考える活動を通して、節度ある行動をしていこうとする態度を育てる。

　(2) 学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習段階 | 児童の活動 | 教師の手だて |
| 導入  （５分）  展開  （35分）  　終末  （５分） | １　「やることはきちんとやる」と聞いて、きちんと自分がやれていることを発表する  ・話を聞くときは話を聞く。  ・宿題をやっている。　・係りや委員会の仕事。  ２　１枚の絵を見て、男の子はどんなことを考えているのか吹き出しを考える  ・スリッパがそろっていないな。  ・そろえたほうがいいかな。  ・スリッパをそろえなかったのは自分じゃない。  ・でも、チャイムが鳴っちゃったよ。  ・時間がないから、後でそろえればいいか。  時間を守ることとスリッパをそろえること、どちらが大切かな  ３　時間を守ることとスリッパをそろえること、どちらが大切かを考え、話し合う  スリッパをそろえる  ・次に使う人が困るからスリッパをそろえてから行く。  ・先生に遅れた理由を話せばいいからスリッパをそろえる。  ・すばやくやろうと思えば時間をかけずにそろえられると思うから、さっとスリッパをそろえたい。  時間を守る  ・集合時刻に遅れた  ら他の子が困ると思  うから時間を守る。  ・みんなに迷惑をか  けてしまう。  ・スリッパは後から  でもそろえられる。  ・時間を守って授業にいき、先生にスリッパをそろえにいきたいことを伝える。  ４　授業の感想を書く  ・スリッパをそろえることも、時間を守ることも人のた  めを思う行動だから迷うな。  ・はじめから一人一人がスリッパをそろえることができ  るといいと思うな。 | ○意見を出しやすいように、生活体験から考えるように伝える。  ○心の葛藤を多面的に考えられるように、絵の吹き出しに男の子の思いを書くようにする。  ○男の子の心の葛藤が視覚的にわかるように、大きな吹き出しを作り、板書を工夫する。  ○子どもたちが吹き出しで考えたことをもとに問題を見つけ主発問を設定する。  ○自分なりに節度ある行動を考えることができるように、時間を守るかスリッパをそろえるのかどちらが大切かを考える時間を設定する。  ○問題を多面的にとらえるために、自分だったらどんな行動をとるか考える時間を設ける。  ○問題を多面的・多角的に考えられるように、机を対立形式にして学級全体で話し合いを行う。  ○クラスに考えを広めるために、よい気づき・思いを書いている児童の意見を取り上げ、発言する機会を設ける。 |

(3) 評　価

　　男の子が思ったことや、その後どんな行動をするかを考え、話し合う中で、いろいろな考え方があることに気づき、節度ある行動をしようという思いを高めることができたか。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(発言や授業中の様子)